



主催:情報コミュニケーション研究科 / 後援:明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダー

予約不要

ご自由にご参加ください

# 「フィールド調査の語られない性」

**講師** 熱田敬子氏(明治大学文学部兼任講師) 社会学・ジェンダー論

日本学術振興会特別研究員, 早稲田大学文学学術院助手を経て現職

**日時** 2015年10月20日(火)18:00~19:30

**場所** 明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント3階 403N

**概要** 社会調査の方法論では, 調査される側の権利侵害について議論が重ねられてきたにもかかわらず, 性的侵害についてはほとんど触れられない。

そして, 調査者が性被害をうけることもよくあるはずだと経験的に思う。文化人類学者のエヴァ・モレノは, エチオピアでのフィールドワーク中, アシスタントの男性からレイプ被害をうけたことを発表している。インフォーマルな体験談では, 学生の調査実習での出来事を含め, 性被害の話はめずらしくない。

しかし, 加害だけでなく被害も, 公に語られることは稀である。フィールドにおける恋愛関係ですら, 論文に書かれることはすくない。

本報告では, 若者であること, 学生であること, 女性であること等, フィールドワーカーがもつ様々な属性と関連させて, フィールドにおける性の問題にどのように向き合うべきかを考えたい。

